

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業	経常事務事業	建設事務事業
--------	--------	--------

● 第 5 次行政改革大綱第 1 次実施計画との関連		有 ・ 無
☐ 有		
☒ 無		

1 ■ 事務事業の概要

1 - 1 事務事業の名称	補助教員配置事業								
1 - 2 担当	部	教育部	課 又は施設	学校教育課	係	学校教育係	評価票作成者	学校教育担当係長 堀井 浩二	
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」			基本施策	義務教育		コード	4—3—1
	項	学校教育			単位施策(中)	教育内容の充実		コード	4—3—1—1
					単位施策(小)	補助教員の拡充		コード	4—3—1—1—4
1 - 4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市立各小中学校（１２校）		意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）		少人数指導等による個に応じたきめ細かな授業を一層の充実を図る			
1 - 5 事務事業の内容	少人数指導等による個に応じたきめ細かな授業を一層充実するため各校に補助教員を配置する。								

2 ■ 事務事業実施の状況

2 - 1 事務事業の実施における基本認識		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み			社会状況等の事務事業がおかれる環境把握			市民ニーズの認識			
	平成18年度	市現職教育事業の中の、教員に対する研修と同じ位置づけで、市臨時職員（補助教員）の研修を年４回実施した。			少人数指導の他、外国人児童生徒に対応できる語学指導員等の配置が必要となっている。			児童生徒個々の学力を伸長するための教育が望まれている。			
	平成19年度	年４回の研修以外に、学期毎の巡回研修を行なった。			〃			増加する外国人児童生徒との共生。			
	平成20年度										
	平成21年度										
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
平成27年度											
2 - 2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名				前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明				
	補助教員の配置（人）				15（人）	27（人）	前期 少人数指導（１人×１２校）＋語学指導（１人×３校） 後期 少人数指導（２人×１２校）＋語学指導（１人×３校）				
2 - 3 成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）	活動実績 a（人）	平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	直接事業費 b（千円）	12	12								
	人件費 c（千円）	28,439	28,239								
	合計コスト d（b＋c）（千円）	192	192								
	単位コスト d / a（千円）	28,631	28,431								
		1人当たり 2,386	1人当たり 2,369	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 ➡ 直接事業費 28,239,140円（補助教員12人の賃金等） 人件費 192,000円＝3,200円×60時間

--

